



YMCA NEWS LETTER

4月

ひめじ



姫路YMCA聖句 「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」 ローマ信徒への手紙12章15節

発行人:NPO法人姫路YMCA 発行所:揖保郡太子町原白毛山921 TEL079(277)1872 URL <http://www/himeji-ymca.org>

復活

クリスチャンにとって「イースター」は、クリスマス以上に大切な事と言えるかもしれません。

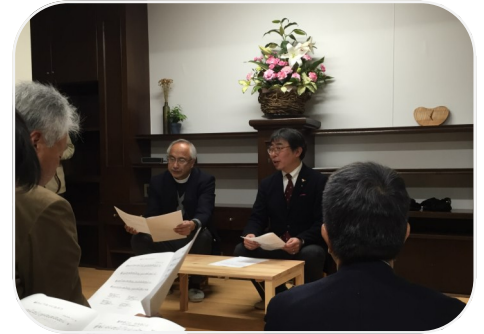
キリスト教を象徴する十字架は、イエス・キリストが私達人間の罪をあがなうために十字架につけられ、そして三日目に復活され、私達を罪や恐怖から救い出し、生きる希望を与えてくださったという事柄を示しています。

3月27日(日)学童保育の拠点となる東保会館においてYMCAアフタースクールの入所式が午前10時から、そして午後5時から有志によるイースター礼拝が、改装を終えたYMCA東保会館において行われました。

今までに何度か紹介させていただいていますように姫路YMCAは4月より、東保会館と太子キャンプ場を使用して、学童保育を太子町との連携のもとに行うことになりました。YMCAにとって、太子町というコミュニティの中で新たに学童保育を展開し、青少年を育成するという大切な使命を担うというに対して格別な意味を持っていると考えます。

姫路YMCAは第2次世界大戦後の1949年に姫路市内のクリスチャンによって瓦礫の中にある青少年に希望と光をというスローガンを掲げ、明日を担う青少年を育成するという使命もち設立されました。高度経済成長期の1981年に土山会館を建設し活動してきましたが少子高齢化と施設の老朽化のため、維持をしていくのが難しくなり、30年続いた土山会館を2012年に売却しました。

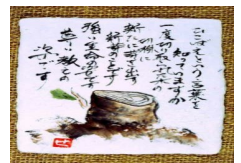
以降、姫路YMCAは太子キャンプ場に事務所を移転し、規模を縮小してNPO法人姫路YMCAとして青少年の活動を行ってきました。以来、YMCAの看板を市街地に出し地域の中で活動するということが



念願でありました。現在の日本社会では、国の施策により、就労と子育て支援に重点が置かれ、放課後児童健全育成事業(学童保育)を充実する処置がおこなわれています。

そのような中、太子町の学童保育の拠点として東保会館が与えられ、地域の中で青少年活動を行えることに感謝します。

キリストの復活を覚えながら、YMCAも再びコミュニティの中で活動が行われることを願い、関係者の皆さんと一緒にイースター礼拝を持ちました。2016年度が意味のある年となるよう一層のお支えをお願いいたします。



スプリングデイキャンプ 3月25日、26日、27日



1日目はみんなでカレー作りをしました。天候は快晴で、子ども達はキャンプ場で出会ったメンバーやリーダーと自己紹介を交わして、野外料理を始めました。何度か来ている子や初めて親から離れる子と様々でしたが、プログラムが始まってからはすぐに友達になることができ、全てのグループがおいしいカレーを食べるこ

うことができました。

2日目は基地づくりをしました。みんなどこに基地を作るか相談して屋根付きの基地や、遊具のある基地、洞穴にに基地を作ったところもありました。みんなの思いが詰まった基地ができました。

3日目は山登りをしました。グループで登るルートを決めて登りました。お昼は白毛山頂上でいただきました。山登りは子ども達の関わりがとて深まるプログラムです。後の子を気遣ったり、また後ろの子も待ってほしいという意思をしっかりと伝えあっていました。



4月の予定

- 4月 1日(金) アフタースクール太子(学童保育)活動開始
姫路Gワイズ事務会
- 4月 3日(日) リーダーミーティング
- 4月10日(日) 野外活クラブ体験例会
- 4月16日(土) 太子ワーク
姫路ワイズ例会 ワーク
- 4月17日(水) 東保会館開所式
受付14:00~ YMCA東保会館
- 4月15日(金) リーダーミーティング
- 4月18日(月) 新入リーダー説明会
- 4月20日(水) 姫路ワイズ役員会
- 4月23日(土) 瀬戸山陰部評議会
- 4月24日(日) 野外活動クラブ
- 4月28日(水) 新入リーダー説明会



3月野外活動クラブファイナルキャンプ報告

坂祐美子（ラッコ）リーダー

3月12日・13日の野外定例では兔野高原野外教育センターで泊まりのキャンプをしました。いつもの太子キャンプ場ではなく、姫路駅から向かうバスの中はうきうきした子ども達の表情でいっぱいでした。兔野高原に着くと、お昼ごはんを食べて待ちに待ったグループタイム！溶けずに残っていた雪で雪合戦をしたり、おにごっこをしたり、体育館で大縄をしたりといつもと違う環境でたくさん身体を動かして遊ぶ姿がみられました。夕方になるとみんなでお風呂に入って、おいしい夕食でお腹を満たしました。その後は体育館で全員参加のゲーム大会！グループ対抗のゲームがたくさんあったので、チームワークが試され、みんな協力して楽しんでいました。全員がおにという一風変わった鬼ごっこはリーダーも含めた白熱したバトル



もあり、とても盛り上がったゲーム大会となりました。そして今年度で卒業するB-ダッシュリーダーからお話が。お話を聞いて、子どもたちは一緒にキャンプできるということの素晴らしさを改めて実感したと思います。こうして1日目が終わわり、2日目はおはよう会スタートしました。朝ごはんを食べた後、2日間使った施設を来た時よりも美しくなるようにみんなで掃除しました。その後のグループタイムでは、チャレンジクラブとアドベンチャークラブが合体してグループを越えて遊ぶなど、微笑ましい光景がみられました。最後のお別れ会では、皆勤賞や準皆勤賞、今年度で退会したり、卒業してしまう子ども達にリーダー達からプレゼントを渡しました。プレゼントには今までの活動の写真や、リーダー達からのメッセージがあり子どもたちも嬉しそうに見ていました。帰りのバスでみんなで歌を歌ったり、ゲームをしたりと気づけば姫路駅へ。あっという間でしたが子どもたちの心に残った2日目だったと思います。次年度もたくさんのお子と一緒で活動できることを楽しみにしています！

ありがとう！2015年度卒業リーダー

福田千春（ピーチ）リーダー

リーダー生活を振り返って



今思うとすごくすぐ短かったけど、たくさん経験でき、私の短大生活になくはならないもので、ここで活動をしていなかったらつま

まない短大生活だったと思います。

カヌーやアーチェリー、全然分からなかったけど、教えてもらってやってみてできるようになりました。池やアーチェリー場を見るだけで、子どもの笑顔や一生懸命楽しそうにしている場面が思い出されます。

実習とボランティア、私が思ったより大変で、何もしたくなくなったり、子どもの関わりも悩んで、例会が終わった時の帰りの電車で泣きながら帰った日もありました。でも、次の例会で子どもの笑顔を見て、またやってみよう。保育士になりたい！と強く思いました。

ここでたくさん遊び、たくさん笑ったり、歌ったり思い出が多すぎます。悩んだことも多かったけど、この太子キャンプ場でたくさんのお子と出会えて、笑えて、YMCAに入ってなかったら絶対出会えてなかったリーダーと活動をしたり、話をしたり、笑ったりできたことが私の宝物になりました。感謝しきれないくらい思っています。ありがとうございました。

長尾匡浩（ビーダッシュ）リーダー



昔の話を少し交えれば小学5年生のとき、初めてのYMCAのキャンプに参加しました。人見知りだったので、ドキドキした気持ちと不安な気持ちを抱いていたことを今でも覚えています。そんな中、ひとりのリーダーが優しく声をかけてくれて、たったそれだけですごく嬉しく思いました。活

動に行くたびに、優しく声をかけてくれ、楽しい活動をたくさんさせてもらい、いっぱい笑って楽しんで、その分怒られたりもしました。

活動を続けるにつれ、リーダーに憧れを持つようになり、自分もリーダーになりたいな、そんな気持ちを抱き高校3年生まで姫路YMCAで続けていました。その翌年から大学生になりリーダーをするか考えていましたが、キャンプするからおいでよ、と声をかけられ、そんな感じでまた太子キャンプ場に戻る機会を頂き、姫路でリーダーをすることに決めました。

この4年間、太子キャンプ場で活動をし、たくさんのお子と、その保護者の方々、また先輩後輩リーダーたち、いろんな人に出会えたと言うのが、一つの思い出です。そのおかげで、話をしてもらい、また聞いてもらい、子どもとちっちゃな会話をするだけでも、何でそう感じたんだろ、何を考えて話したのかな？と疑問を抱き、ひとりでボーっと考えたりしたことも、今ではいい思い出です。この太子が好きだから、ここに集う子どもたちの笑顔が見たいから、そういった一心で活動をつづけてきました。大学4年生になると卒業という現実を突きつけられ、あたふたする時もありました。もう、ここに来るみんなと活動が出来ないんだな、と考えてしまうときもありましたが、目の前に来る子どもたちを見るとすごく励まされ、元気をもらえたな、リーダーやってよかったなとそう思わせてくれました。一人ひとり出会ったことに感謝の気持ちしかありません。また機会があれば太子キャンプ場に戻って来たいなと思っています。その時までB-ダッシュを忘れないでね。

